

平成22年度地域公共交通活性化研修班別討議内容

G 班

班別討議において出された意見等
<p>デマンドタクシー導入について討議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー事業者間との協議、理解を得るのに難儀した。 <ul style="list-style-type: none"> 業者間の不和の解消、信頼関係づくりなど 交通協議会のメンバーも自分以外の地域について知らない。他の地域を知るために視察した。 ・公共交通問題を自分の問題としてとらえていない。 ・新システム導入は、デマンドという言葉もわからない状況の中で理解していただくことは大変であった。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のほとんどは高齢者である。 ・申し込みが一人だと遠慮している。 ・申込の際に、電話予約が面倒だ。 ・運行していく上で、住民要求が増えて財政負担が心配。 ・合併で範囲が広くなり調整ができていない。 <p>以上の問題は、どこの市町村でも抱えていた。</p>
各班における討議結果
<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーの利用者は高齢者が多いので、利用しやすいように工夫が必要。 <ul style="list-style-type: none"> 説明の文字を大きくする。 親しみやすい名称をつける。(飯山市は「なのはなタクシー」) など ・地域のリーダーにまとめ役になってもらい、利用促進を宣伝してもらう。 <ul style="list-style-type: none"> 富山市では地域のリーダーが積極的に動き、自主運行バスを運行している。(運行費の45%市補助・地域負担金・協賛金で運行) <p>すべての要求を満たすことは難しい。不便を少しでも少なくするように工夫が必要だ。</p>